

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所, No.34, 2006.2 : 3-11
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4299
Rights	

SERVE

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

大木 英夫 おおき・ひでお

1928年生まれ。1956年東京神学大学大学院卒。1960年ユニオン神学大学(ニューヨーク)ドクターコース卒。神学博士。組織神学・社会倫理学専攻。元東京神学大学学長。東京神学大学名誉教授。現在、聖学院大学大学院教授。学校法人聖学院院長・理事長。聖学院大学総合研究所長。

〔著書〕『プルンナー 人と思想』(日本基督教団出版部, 1962年), 『ピューリタニズムの倫理思想』(新教出版社, 1966年), 『ピューリタン—近代化の精神構造』(中央公論社, 1968年), 『終末論的考察』(中央公論社, 1970年), 『終末論』(紀伊國屋書店, 1972年), 『現代人のユダヤ人化—現代文明論集』(白水社, 1976年), 『キリスト入門』(ヨルダン社, 1976年), 『歴史神学と社会倫理』(ヨルダン社, 1979年), 『偶然性と宗教』(ヨルダン社, 1981年), 『バルト』(講談社, 1984年), 『日本の神学』(共著, ヨルダン社, 1989年), 『主の祈り』(聖学院大学出版会, 1990年), 『新しい共同体の倫理学 基礎編』(上・下, 教文館, 1994年), 『日本は変わるか—戦後日本の終末論的考察』(共著, 教文館, 1996年), 『ローマ人への手紙—現代へのメッセージ』(教文館, 1998年), 『宇魂和才の説—21世紀の教育理念』(聖学院大学出版会, 1999年), 『時の徴—第三ミレニアムとグローバリゼーション』(教文館, 2000年), 『組織神学序説—プロレゴメナとしての聖書論』(教文館, 2003年), その他。

渡辺 雅男 わたなべ・まさお

1950年東京生まれ。1974年一橋大学社会学部卒。1974年一橋大学社会学研究科修士課程進学。1976年同博士課程進学。1984年一橋大学社会学部専任講師。1987年同助教授。1993年同教授(2000年4月より, 改組により一橋大学社会学研究科教授)。この間, イギリス・シェフィールド大学客員研究員(1988~1990年), 東京経済大学非常勤講師(1998~1999年), 日本大学非常勤講師(2000年~2001年), ドイツ・ハイデルベルク大学客員教授(2001年), 成城大学非常勤講師(2004年~現在)。社会学博士。

〔著書〕『階級論の現在』(共著, 青木書店, 1997年), 『現代日本的階層差別及其固定化』(中文, 北京中央編譯社, 1998年), 『階級! 社会認識の概念装置』(彩流社, 2004年)。

田中 浩 たなか・ひろし

1926年佐賀県生まれ。幼年時代を朝鮮のソウル（旧京城）、ウォンサン（旧元山）で過ごし、旧制佐賀中学、陸軍経理学校予科、旧制佐賀高等学校文科乙類、東京文理科大学哲学科卒。東京教育大学、静岡大学、一橋大学教授、大東文化大学教授、立命館大学客員教授を経て、現在、聖学院大学大学院客員教授。一橋大学名誉教授。法学博士。

〔著書〕『ホップズ研究序説——近代国家論の生誕』（御茶の水書房、1982年）、『長谷川如是閑研究序説——社会派ジャーナリストの誕生』（未来社、1989年）、『国家と個人——「市民革命から現代まで」』（岩波書店、1990年）、『カール・シュミット——魔性の政治学』（未来社、1992年）、『近代日本と自由主義——論吉・卯吉・羯南・如是閑』（岩波書店、1993年）、『近代政治思想史——思想と歴史のダイナミズム』（講談社学術文庫、1995年）、『戦後日本政治史』（講談社学術文庫、1996年）、『ホップズ』（研究社、1998年）、『戦後世界政治史』（講談社、1999年）、『日本リベラリズムの系譜——福沢諭吉・長谷川如是閑・丸山真男』（朝日新聞社、2000年）、『20世紀という時代』（日本放送出版協会、2000年）、『20世紀日本を創った思想家たち——勝海舟から丸山真男まで』（日本放送出版協会、2002年）、『第三の開国は可能か』（日本放送出版協会、2003年）、『ヨーロッパ文明の知恵——ギリシア思想から現代まで』（日本放送出版協会、2005年）。

〔編書〕『国家思想史（上）・（下）』（青木書店、共編、1974年）、『日本の国家思想（上）・（下）』（青木書店、共編、1980年）、『社会変動と法』（勁草書房、共編、1981年）、『近代日本のジャーナリスト』（御茶の水書房、1987年）、『現代世界と国民国家の将来』（御茶の水書房、1990年）、『民族と国家の国際比較研究』（未来社、共編、1997年）、『現代世界と福祉国家』（御茶の水書房、1997年）。

〔訳書〕T・ホップズ『リヴァイアサン』（河出書房新社、共訳、1966年）、ミル「代議制統治論」（河出書房新社、共訳、1967年）、C・シュミット『政治的なものの概念』（未来社、共訳、1970年）、ミルトン『イングランド宗教改革論』（未来社、共訳、1976年）、E・ウィリアムズ『帝国主義と知識人』（岩波書店、1979年）、シュミット『政治神学』（未来社、共訳、1981年）、J・ミルトン『教会統治の理由』（未来社、共訳、1985年）、シュミット『独裁』（未来社、共訳、1991年）、R・タック『トマス・ホップズ』（未来社、共訳、1995年）、C・ピアソン『曲がり角にきた福祉国家』（未来社、共訳編、1996年）、ミルトン『離婚の教理と規律』（未来社、共訳、1998年）、T・ホップズ『哲学者と法学徒との対話』（岩波文庫、共訳、2002年）など多数。

関 正勝 せき・まさかつ

1961年立教大学文学部キリスト教学科卒。1964年同大学大学院組織神学専攻、修士課程修了。1965年聖公会神学院卒。現在、聖公会神学院校長、立教大学名誉教授、社会福祉法人新生会及び立教大学院理事。

〔著書〕『生命倫理』（聖公会出版）、シリーズ『生命科学とキリスト教』（共著・日本基督教団出版局）、『いのちの倫理を考える——生命の始まりから終わりまで』（新教出版社）、その他。

鵜沼 裕子 うぬま・ひろこ

1934年東京生まれ。東京大学大学院人文科学研究科倫理学専攻過程・博士課程単位取得満期退学(文学修士)。聖学院大学人文学部日本文化学科教授を経て、現在、聖学院大学大学院・同総合研究所教授。

〔著書〕『近代日本のキリスト教思想家たち』(日本基督教団出版局, 1988), 『史料による日本キリスト教史』(聖学院大学出版会, 1992), 『近代日本キリスト者の信仰と倫理』(聖学院大学出版会, 2000), その他。

平山 正実 ひらやま・まさみ

1965年横浜市立大学医学部卒。医学博士。精神保健指定医。69年東京都教職員互助会三楽病院勤務。72年から93年まで自治医科大学にて研究・教育・診療に従事。93年より現在まで東洋英和女学院大学人間科学部教授および北千住旭クリニック院長。2002年10月より聖学院大学総合研究所客員教授として「カウンセリング研究センター」を立ち上げる。立教大学, 立正大学, 東京キリスト教学園, 東京医科歯科大学等の非常勤講師を兼ねる。NPO法人「グリーン・ケア・サポート・プラザ」理事長。

〔著書〕『死生学とは何か』, 『心の病の治療が判る本』, 『はじめの死生学』(春秋社), 『グリーンケアの行動科学』(共著), 『死生学がわかる』(共著), 『いのちの哲学』(共著), 『精神保健学』(共著)ほか多数。

藤掛 明 ふじかけ・あきら

1982年大東文化大学文学部卒。法務省に入省し、横浜少年鑑別所を皮切りに、大阪、浦和、八王子、東京の各少年鑑別所に勤務。その後神奈川医療少年院統括専門官、府中刑務所分類審議室上席統括矯正処遇官、富山少年鑑別所首席専門官を歴任。2003年4月より聖学院大学総合研究所専任講師。

この間、93年に臨床心理士資格を取得。立教大学大学院、徳島文理大学大学院非常勤講師を兼ねる。日本犯罪心理学会理事、日本描画テスト描画療法学会常任理事。東京臨床心理士会研修委員長。牧会ジャーナル編集委員。

〔著書〕『非行カウンセリング入門』, 『描画テスト描画療法入門』, 『現代ひたくり事情』(共著), 『キリスト者の職業と召し』(共著)など。

阿久戸 光晴 あくど・みつはる

1951年生まれ。一橋大学社会学部・法学部卒。住友化学工業株式会社勤務を経て、東京神学大学博士課程前期修了後、米国エモリー大学神学部大学院ほか。その傍ら聖学院大学及び聖学院大学アトランタ国際学校開設業務を担当。その後聖学院大学宗教研主任兼教授を経て、現在、聖学院大学学長。その他キリスト教文化学会理事長、荒川区不正防止委員会委員長代理など。
〔著書〕『近代デモクラシー思想の根源』、『説教集 新しき生』、『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック』(共著)、『神を仰ぎ人に仕う』(共著)ほか、著書・論文多数。

月尾 嘉男 つきお・よしお

1942年愛知県生まれ。1965年東京大学工学部卒。1971年東京大学工学系大学院博士課程修了。1978年工学博士。名古屋大学工学部教授、東京大学工学部教授、東京大学大学院新領域創成科学研究科教授などをへて、2002～03年総務省総務審議官。2003年より東京大学名誉教授。専門はメディア政策。
〔著書〕『IT革命のカラクリ』、『縮小文明の展望』など。

北川 正恭 きたがわ・まさやす

1944年生まれ。1967年早稲田大学第一商学部卒。1972年三重県議会議員当選(3期連続)、1983年衆議院議員当選(4期連続)。任期中、文部政務次官を務める。1995年、三重県知事当選(2期連続)。「生活者起点」を掲げ、ゼロベースで事業を評価し改革を進める「事業評価システム」や情報公開を積極的に進め、地方分権の旗手として活動。達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言。2期務め、2003年4月に退任。現在、早稲田大学大学院公共経営研究科教授、「新しい日本をつくる国民会議」(21世紀臨調)代表。
〔著書〕『行政革命』(ぎょうせい)。

平 修久 たいら・のぶひさ

1955年生まれ。東京大学工学部都市工学科卒。コーネル大学博士課程修了。Ph. D. (都市及び地域計画学)。(社)海外コンサルティング企業協会、富士総合研究所を経て、現在、聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科教授。聖学院大学大学院政治政策学研究科教授。
〔著書〕『地域に求められる人口減少対策』(聖学院大学出版会)、『世界都市の成長と基盤整備 ニューヨーク・ロンドン・パリ』(共著、アーバンコミュニケーションズ)、『東京はこう変わる——「遷都」「分権」の基礎知識』(共著、東洋経済新報社)、『成熟都市東京のゆくえ』(共著、ぎ

ようせい)。

穂坂 邦夫 ほさか・くにお

1941年埼玉県志木市生まれ。埼玉大学経済短期大学部卒。埼玉県職員、足立町(現・志木市)職員を経て、志木市議会議長、埼玉県議会議長を歴任。2001年、埼玉県志木市長に就任し、全国で初めての公立小学校(低学年)への「25人程度学級」の導入や不登校状態にある児童に学校の外でも教育の機会を与える「ホームスタディ制度」、市民やNPOなど有償ボランティアが一部の業務を担う地方自立計画「行政パートナー制度」などの先進的な地方行政改革を推進してきた。2005年6月30日の任期満了にともなう退任後は、これまで培った全国の市民団体や地方議員、有識者ととも地方の自立をめざすNPO「地方自立政策研究所」を設立する。
〔著書〕『どの子ども一番になれる』(幻冬舎、2004年)、『自治体改革第6巻』(ぎょうせい、2004年)、『自治体あすへの胎動』(共著、ぎょうせい、2004年)、『国の常識は地方の非常識』(共著、PHP研究所、2004年)、『市町村崩壊——破壊と再生のシナリオ——』(スパイス、2005年)、『教育委員会廃止論』(弘文堂、2005年)。

田中 栄治 たなか・えいじ

山口県立萩商業高校卒。1962～1963年丸紅勤務、慶應義塾大学経済学部卒。1973年公認会計士資格取得。同年よりシンクタンクおよびドゥタンク活動を始める。現在、特定非営利活動法人地域交流センター代表理事、全国首長連携交流会事務局長、全国まちの駅連絡協議会事務局長、日本ぐるっと一周・海交流実行委員長、サロンSHU(集&yu)代表を務める。社会実験を通して「道の駅」を制度化につなげる。「まちの駅」実験・普及事業を全国展開中。
〔著書〕『地域連携の技法』(今井書店)、『地域連携がまち・くを変えて』(共著・小学館)。

佐々木 信夫 ささき・のぶお

1948年生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修了。法学博士(慶應義塾大学)。東京都庁総務局、企画審議室、都市計画局勤務をへて、1989年聖学院大学教授。1994年より中央大学経済学部教授、聖学院大学総合研究所・同大学院客員教授。2001年より中央大学大学院経済学研究科教授。カリフォルニア大学(UCLA)客員研究員、各種審議委員などを歴任。全国知事会専門委員。1987年日本都市学会賞、1999年NHK地域放送文化賞受賞。専攻は行政学、地方自治論。
〔著書〕『東京都政』、『都庁』(岩波新書)、『地方は変わるか』、『市町村合併』(ちくま新書)、『現代行政学』(学陽書房)、『政策の潮流・改革のうねり』(ぎょうせい)など。

速水 優 はやみ・まさる

1925年生まれ。1947年東京商科大学（現一橋大学）卒。1947年日本銀行入行後、大分支店長、ロンドン駐在参事、外国局長、名古屋支店長等を経て、1978年理事。その後商社の社長、会長を歴任し、1991年経済同友会代表幹事。1998年日本銀行総裁に就任し2003年3月任期満了により退任。現在、学校法人聖学院名誉理事長・理事、聖学院大学総合研究所全学教授の他、(財)歴史民族博物館振興会理事長、東京女子大学評議員、東洋英和女学院評議員を兼任。

〔著書〕『変動相場制10年——海凶なき航海——』（東洋経済新報社、1982年）、『土の器』（NTT出版、1991年）、『円が尊敬される日』（東洋経済新報社、1995年）、『中央銀行の独立性と金融政策』（東洋経済新報社、2004年）、『強い円・強い経済』（東洋経済新報社、2005年）。

柴田 武男 しばた・たけお

1952年東京生まれ。横浜国立大学経済学部卒。東京大学大学院経済学研究科第二種博士課程を経て、財団法人日本証券経済研究所主任研究員。現在、聖学院大学政治経済学部教授。

〔著書〕『企業は環境をまもれるか』（岩波ブックレットNo.361）、『ソーシャル・インベストメントとは何か——投資と社会の新しい関係』（日本経済評論社）など。

〔論文〕「金融政策は有効か——両建て経済論からの疑問」（『証券レビュー』第45巻第1号、2005）ほか多数。

眞野 輝彦 まの・てるひこ

1934年生まれ。1956年一橋大学経済学部卒。同年東京銀行入行。1985年取締役、1996年合併により東京三菱銀行参与。1999年東京リサーチインターナショナル参与。現在、聖学院大学大学院特任教授。日本商工会議所・東京商工会議所政策委員会委員。国策研究会評議員会議長。日本国際フォーラム政策委員。International Club of Bank Economists会員。国際通貨研究所評議委員。サンケイ新聞「正論」、The Japan Times、執筆登録メンバー。

〔著書〕『現代の国際金融』（有斐閣、1983年）、『YENの実力』（一橋選書、1989年）、『日本にもうカネはない』（文芸春秋、1990年）、『日本主義経済への警告』（時事通信社、1990年）、『1992年の読み方 日本と世界』（東洋経済新報社、1991年）、『真の豊かさと世界貢献』（三田出版会、1992年）、『円高と変わる経済』（日本食糧新聞社、1993年）、『日本の論点 96』（=執筆団、文芸春秋編、1995年）、『日本の論点 99』（=執筆団、文芸春秋編、1999年）、その他多数。

康 仁 徳 かん・いんどく

1932年生まれ。1968年韓国外国語大学院修了。政治学博士。韓国中央情報部中共・ソ連分析官、北韓課長、海外情報局長、北韓局長兼南北調節委員などを歴任。1979年(財)極東問題研究所創立、同所長。1998年金大中政権の統一部長官。1999年7月から聖学院大学総合研究所客員教授。〔著書〕『共産圏総覧』、『北韓全書』、『共産主義と統一戦術』、『言論・政治・イデオロギー』、『北朝鮮問題をどう解くか』(編著)など。

鈴木 輝二 すずき・てるじ

1934年東京生まれ。早稲田大学法学部卒。ワルシャワ大学法学部博士課程修了。インディアナ大学ロシア東欧研究所フェロー、香川大学法学部教授、東海大学法学部教授などを経て、現在、ワルシャワ大学法学部(客員)教授。専門分野は中東欧を中心とする比較法及び比較体制論。〔著書〕『ユダヤ・エリート—アメリカへと渡った東方ユダヤ人』(中公新書)、『EUへの道—中東欧における近代法の形成』(尚学社、2004年)ほか。〔論文〕EU関係のみ。「欧州概念の東方への拡大と比較法の課題」、『東海法学』、東海大学、第16号、1996年、pp.117-202。「欧州連合(EU)の拡大と中東欧の1990年体制」、『東海法学』、東海大学、第21号、1999年、pp.23-71。「欧州周辺部における西欧法文化の展開(一)」、『東海法学』、第26号、2001年、pp.69-113。「中東欧における土地再私有化と私的所有権体制」、『東海法学』、第27号、2002年、pp.1-59。「欧州周辺部における西欧法文化の展開(二)」、『東海法学』、第29号、2003年、pp.7-63。「欧州周辺部における西欧法文化の展開(三、完)」、『東海法学』、第31号、2004年。など。

滝 沢 正 たきざわ・ただし

1946年生まれ。1969年東京大学法学部卒。法学博士。1976年上智大学法学部助教授を経て、1984年より同教授。1999年より法学部長、2003年より図書館長、2004年より法科大学院長。〔主要著書〕『フランス行政法の理論』(有斐閣、1984年)、『現代ヨーロッパ法の展望』(編著、東京大学出版会、1998年)、『フランス法(第2版)』(三省堂、2002年)、『比較法学の課題と展望』(編著、信山社、2002年)。

西川 淑子 にしかわ・としこ

1951年生まれ。1993年同志社大学文学研究科社会福祉学専攻修士課程修了。特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター等の職務を経て、1994年龍谷大学社会学部助手に就任。1998年社会

学部講師。現在、社会学部助教授。

〔著書〕『新・社会福祉概論』、『高齢者福祉概論』（共著・学文社）。

深井 智朗 ふかい・ともあき

1964年生まれ。アウクスブルク大学哲学・社会学部博士課程修了。哲学博士（アウクスブルク大学）、文学博士（京都大学）。現在、聖学院大学総合研究所助教授。

〔著書〕*Paradox und Prolepsis*, Marburg, 1996, 1999 (2.Aufl.), 『アプログテイクと終末論』（北樹出版）、『政治神学再考』（聖学院大学出版会）、『文化は宗教を必要とするか』（教文館）、*Harnack und seine Zeit*, Marburg, 2002, 『超越と認識』（創文社）など。

郡司 篤晃 ぐんじ・あつあき

1937年茨城県水戸市生まれ。東京大学医学部卒、同大学院卒。医学博士。東京女子医科大学日本心臓血圧研究所研究部を経て1975年に厚生省入省、その後医務局総務課、環境庁、鹿児島県衛生部長、厚生省生物製剤課長、健康増進栄養課長を歴任。1985年より東京大学医学部保健管理学教授。現在、聖学院大学大学院教授。

〔著書〕『医療システム研究ノート』（丸善プラネット）、『保健医療計画ハンドブック』（編著・第一法規）、『身体活動・不活動の健康影響』（編著・第一出版）など。

谷口 隆一郎 たにぐち・りゅういちろう

ウェストヴァージニア大学経済学部大学院修士課程卒。経済学修士（M. A.）。キリスト教学術研究所大学院哲学修士課程（M. Phil. F.）修了。アムステルダム自由大学哲学部大学院博士課程卒（1998年）。哲学博士（Ph. D.）。聖学院大学総合研究所助教授を経て、現在、聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科助教授。

〔著書〕*Liberalism and Its Metaphysical Difference: A Critique of F. A. von Hayek's Political Philosophy*. Free University of Amsterdam Press, 1998. 他、論文多数。

武藤 健一 むとう・けんいち

1967年生まれ。一橋大学大学院法学研究科博士課程満期退学。聖学院大学を含む非常勤講師。専攻はジェンダー憲法学、ジェンダー法学、ジェンダー学。

〔著書〕『概説 フェミニズム思想史』（共著、ミネルヴァ書房）、『フランスの憲法判例』（共著、信山社）。

〔論文〕「女性と家族の憲法学」(『二一世紀の立憲主義』, 勁草書房), など。

ディーン・W・サザデン Dean W. Sotherden

1960年生まれ。1982年オハイオ大学卒。テンプル大学にてM. Ed.取得。現在、聖学院大学総合研究所助教授。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所非常勤講師。SLI副所長。

〔論文〕Is Learning English Truly Advantageous For the Japanese? (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.22, 2001), Cross-Cultural Education And Intercultural Communication (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.23, 2001), The Art Of Teaching English As A Foreign Language In Elementary School (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.24, 2002), Creating An Environment That Is Conducive To Learning (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.25, 2002), Demystifying Learning (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.26, 2002), Teaching Listening In EFL Classes (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.27, 2003), Internationalizing Education In Japan (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.28, 2003), The Complexities Of Learning English As A Foreign Language (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No. 32, 2004), and Keeping A Journal Of Observations Of Listening Experiences When Learning A Foreign Language (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No. 33, 2005).

メラン・サベット Mehran Sabet

1956年生まれ。1979年テヘラン大学卒。1981年サン・ディエゴ, ナショナル大学院卒。M. B. A取得。現在、聖学院大学総合研究所助教授, SLI所長。

〔論文〕Evaluating and Choosing a Textbook 他。

〔著書〕*Speak Out*, Seigakuin General Service, 2001.

市川 研 いちかわ・けん

1972年静岡県生まれ。1998年北海道医療大学看護福祉学部臨床心理専攻卒(臨床心理学士), 2001年オクラホマシティ大学大学院修了(MA. in TESOL), 2004年愛知大学大学院修了(国際コミュニケーション修士)。2005年4月より聖学院大学基礎総合教育部特任講師。専門は英語教育, 外国語教育政策, アジア英語。